

# ダイワ・アジアリート・ファンド (年1回決算型)

## 運用報告書(全体版)

### 第5期

(決算日 2021年3月15日)

(作成対象期間 2020年3月17日～2021年3月15日)

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信託期間	約8年11カ月間（2016年4月1日～2025年3月14日）	
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの受益証券
	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	アジア（日本を除きます。）およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアおよびオセアニア地域のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			アジアリート指数 (アジア部分、 配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
1 期末(2017年 3月14日)	10,486	0	4.9	10,943	9.4	10,263	2.6	92.6	4
2 期末(2018年 3月14日)	11,580	0	10.4	13,012	18.9	10,495	2.3	94.5	13
3 期末(2019年 3月14日)	13,026	0	12.5	15,591	19.8	12,320	17.4	92.0	39
4 期末(2020年 3月16日)	11,715	0	△ 10.1	13,923	△ 10.7	9,770	△ 20.7	96.5	79
5 期末(2021年 3月15日)	13,961	0	19.2	15,228	9.4	13,254	35.7	96.7	101

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アジアリート指数（アジア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、日本を除くAsia Pacific (Developed)、およびAsia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) アジアリート指数（オセアニア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed)の構成国地域、およびAsia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

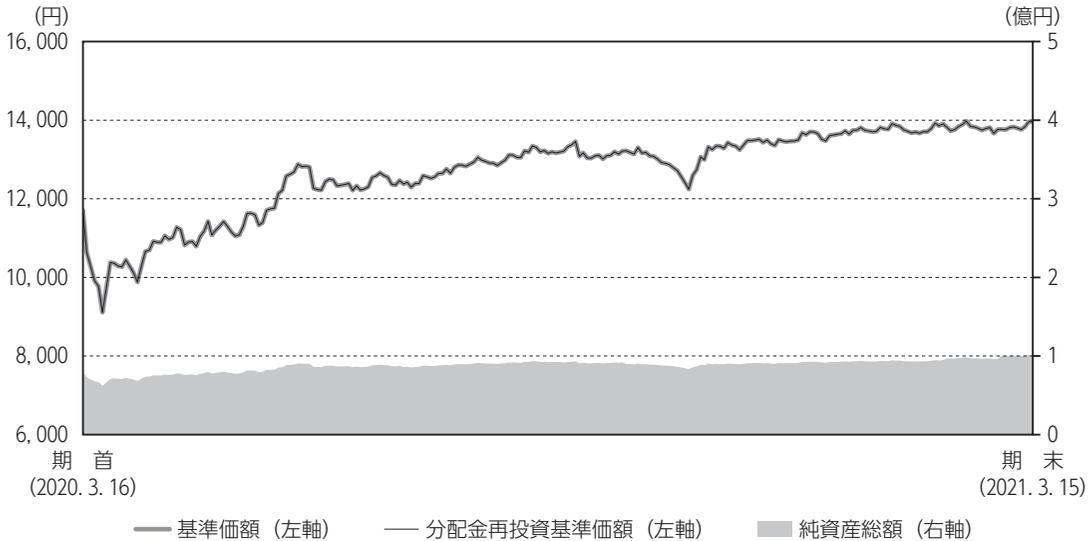
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,715円

期末：13,961円（分配金0円）

騰落率：19.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。世界的な金融緩和および積極的な財政政策、また新型コロナウイルスのワクチン開発進展への期待感などを背景に、シンガポールやオーストラリア、香港のリート市場が上昇したことが、基準価額にプラスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢が後退したことを受けて、シンガポール・ドルとオーストラリア・ドルが円に対して上昇（円安）したことも、基準価額にプラスの要因となりました。

ダイワ・アジアリート・ファンド（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %	
(期首) 2020年 3月16日	11,715	—	13,923	—	9,770	—	96.5
3月末	10,270	△ 12.3	12,247	△ 12.0	7,282	△ 25.5	96.3
4月末	11,178	△ 4.6	13,187	△ 5.3	8,609	△ 11.9	96.7
5月末	11,759	0.4	12,910	△ 7.3	9,892	1.3	96.6
6月末	12,224	4.3	13,765	△ 1.1	10,011	2.5	96.6
7月末	12,646	7.9	13,610	△ 2.2	10,326	5.7	96.7
8月末	13,050	11.4	13,821	△ 0.7	11,227	14.9	96.7
9月末	13,109	11.9	13,918	△ 0.0	11,168	14.3	96.9
10月末	12,413	6.0	13,030	△ 6.4	10,757	10.1	97.3
11月末	13,514	15.4	14,371	3.2	12,617	29.1	97.6
12月末	13,731	17.2	14,604	4.9	13,167	34.8	97.1
2021年 1月末	13,668	16.7	14,653	5.2	12,702	30.0	97.4
2月末	13,812	17.9	15,022	7.9	12,984	32.9	97.0
(期末) 2021年 3月15日	13,961	19.2	15,228	9.4	13,254	35.7	96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 3. 17～2021. 3. 15）

### ■ リート市況

アジア・オセアニア地域のリート市場は総じて上昇しました。

当作成期首から2020年3月後半にかけて、アジア・オセアニア地域のリート市場は、下落傾向となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済の減速懸念が広がり、投資家のリスク回避の動きが強まりました。4月は、多くの国で発表された積極的な金融・財政政策や、長期的な資産価値と比較して割安なバリュエーションなどから、戻りを試す展開となりました。5月から6月前半にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動再開への期待感などから、投資家のリスク選好姿勢が強まり、上昇傾向となりました。6月後半から7月にかけては、多くの国や地域で新型コロナウイルスの感染が拡大傾向となったことなどから、経済活動再開の遅れが懸念され、上値の重い展開となりました。8月から9月にかけては、感染拡大が落ち着きつつある中、ワクチン開発進展への期待感や、世界的な金融緩和を下支えに持ち直しつつあるマクロ経済指標などを背景に上昇傾向となりました。10月は、米国大統領選挙で民主党が政権・議会ともに押さえるとの観測や、その民主党によって財政拡大が行われるとの観測などを背景に米国長期金利が上昇したことなどから下落傾向となりました。11月は、米国の大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことや、米国大手製薬会社がワクチン開発において良好な治験結果を得たと発表したことなどから、上昇傾向となりました。12月は、行動規制の緩和などからリーートの業績回復への期待感が高まり、おおむね堅調に推移しました。2021年1月から当作成期末にかけては、長期金利の上昇などを背景に上値の重い展開となりました。

### ■ 為替相場

オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルが対円で上昇しました。

当作成期首から2020年5月にかけての対円為替相場は、各国中央銀行による積極的な金融緩和政策の発表や、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待感などから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、円安オーストラリア・ドル高が進みました。6月前半には、経済活動再開への期待感や市場予想に反して改善した米国の雇用統計などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが対円で上昇しました。6月後半から8月にかけては、世界的なリスク選好姿勢の強まりや鉄鉱石価格の上昇、中国の景気改善への期待感などからオーストラリア・ドルへの選好が強まり、円安オーストラリア・ドル高が進みました。9月から10月にかけては、米国大統領選挙を前にしたリスク調整の動きなどから円高オーストラリア・ドル安が進みました。11月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことや、ワクチンの普及による経済活動正常化への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 3. 17 ~ 2021. 3. 15)

### ■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

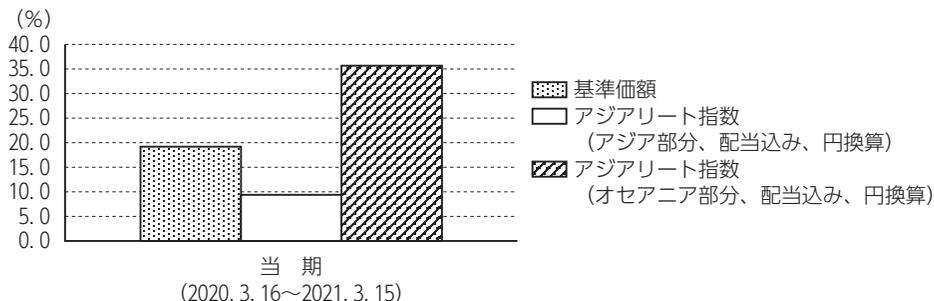
### ■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントに抱え、業績の安定性と成長性を両立させている香港のLINK REIT、シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有するKEPPEL DC REIT、欧州やオーストラリアに物流施設を保有するシンガポールのFRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールのASCENDAS REAL ESTATE、シンガポールで優良ショッピングモールを保有するCAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUSTなどを高位に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年3月17日 ～2021年3月15日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,960

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 17~2021. 3. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	209円	1.645%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,707円です。
（投 信 会 社）	(101)	(0.795)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(101)	(0.795)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	14	0.106	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(14)	(0.106)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.011	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(1)	(0.011)	
そ の 他 費 用	16	0.123	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(13)	(0.099)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.018)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	240	1.886	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

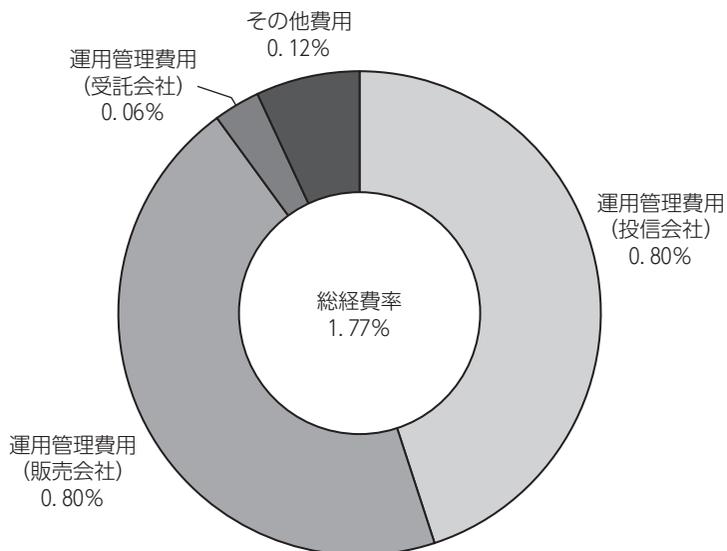
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月17日から2021年3月15日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	7,471	9,900	4,261	5,700

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	67,183	70,393	100,957			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	100,957	98.7
コール・ローン等、その他	1,302	1.3
投資信託財産総額	102,260	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.06円、1オーストラリア・ドル=84.67円、1香港・ドル=14.05円、1シンガポール・ドル=81.13円、1マレーシア・リンギット=26.49円、1タイ・バーツ=3.55円です。

(注3) ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(750,458千円)の投資信託財産総額(754,623千円)に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	102,260,057円
コール・ローン等	1,302,185
ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド(評価額)	100,957,872
(B) 負債	754,477
未払信託報酬	752,053
その他未払費用	2,424
(C) 純資産総額(A-B)	101,505,580
元本	72,707,404
次期繰越損益金	28,798,176
(D) 受益権総口数	72,707,404口
1万口当り基準価額(C/D)	13,961円

\* 期首における元本額は68,256,396円、当作成期間中における追加設定元本額は9,023,136円、同解約元本額は4,572,128円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,961円です。

■損益の状況

当期 自 2020年3月17日 至 2021年3月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 88円
受取利息	5
支払利息	△ 93
(B) 有価証券売買損益	16,640,450
売買益	17,262,221
売買損	△ 621,771
(C) 信託報酬等	△ 1,450,293
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,190,069
(E) 前期繰越損益金	△ 6,969,959
(F) 追加信託差損益金	20,578,066
(配当等相当額)	( 10,626,349)
(売買損益相当額)	( 9,951,717)
(G) 合計(D+E+F)	28,798,176
次期繰越損益金(G)	28,798,176
追加信託差損益金	20,578,066
(配当等相当額)	( 10,626,349)
(売買損益相当額)	( 9,951,717)
分配準備積立金	8,220,198
繰越損益金	△ 88

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,964,719
(c) 収益調整金	20,578,066
(d) 分配準備積立金	2,255,479
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	28,798,264
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	28,798,264
(h) 受益権総口数	72,707,404口

# ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

## 運用報告書 第12期 (決算日 2021年3月15日)

(作成対象期間 2020年9月15日～2021年3月15日)

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	アジア（日本を除きます。）およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
株式組入制限	無制限

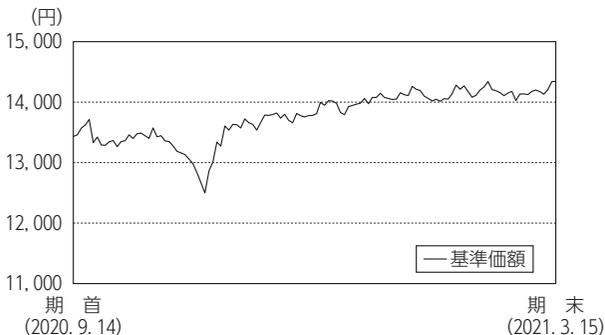
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		アジアリート指数 (アジア部分、配当 込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率	
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	%	%
(期首) 2020年9月14日	13,433	—	12,889	—	11,370	—	—	97.5
9月末	13,364	△ 0.5	12,732	△ 1.2	11,439	△ 0.6	—	97.5
10月末	12,669	△ 5.7	11,919	△ 7.5	11,018	△ 3.1	—	97.8
11月末	13,818	2.9	13,147	2.0	12,923	13.7	—	98.1
12月末	14,060	4.7	13,359	3.6	13,486	18.6	—	97.6
2021年1月末	14,014	4.3	13,404	4.0	13,009	14.4	—	97.9
2月末	14,177	5.5	13,742	6.6	13,298	17.0	—	97.5
(期末) 2021年3月15日	14,342	6.8	13,931	8.1	13,575	19.4	—	97.2

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の構成国地域のうち、日本を除く Asia Pacific (Developed)、および Asia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) アジアリート指数 (オセアニア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed) の構成国地域、および Asia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,433円 期末：14,342円 騰落率：6.8%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は上昇しました。世界的な金融緩和および積極的な財政政策、また新型コロナウイルスのワクチン開発進展への期待感などを背景に、オーストラリアや香港のリート市場が上昇したことが、基準価額にプラスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢が後退したことを受けて、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドル、香港ドルが円に対して上昇 (円安) したことも、基準価額にプラスの要因となりました。

◆投資環境について

○リート市場

アジア・オセアニア地域のリート市場はおおむね堅調に推移しました。

アジア・オセアニア地域のリート市場は、当作成期首から2020年10月にかけて、米国大統領選挙で民主党が政権・議会ともに押さえるとの観測や、その民主党によって財政拡大が行われるとの観測などを背景に米国長期金利が上昇したことなどから下落傾向となりました。11月は、米国の大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことや、米国大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果を得たと発表したことなどから、上昇傾向となりました。12月は、行動規制の緩和などからリートの業績回復への期待感が高まり、おおむね堅調に推移しました。2021年1月から当作成期末にかけては、長期金利の上昇などを背景に上値の重い展開となりました。

○為替相場

シンガポール・ドルやオーストラリア・ドル、香港ドルが対円で上昇しました。

当作成期首から2020年10月にかけての対円為替相場は、米国大統領選挙前にしたリスク調整の動きなどから円高オーストラリア・ドル安が進みました。11月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことや、ワクチンの普及による経済活動正常化への期待感などから投資家のリスク選好姿勢が強まり、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドル、香港ドルが対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

◆ポートフォリオについて

地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントに抱え、業績の安定性と成長性を両立させている香港の LINK REIT、シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有する KEPPEL DC REIT、欧州やオーストラリアに物流施設を保有するシンガポールの FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールの ASCENDAS REAL ESTATE、シンガポールで優良ショッピングモールを保有する CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	11円 ( 11)
有価証券取引税 (投資信託証券)	1 ( 1)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 ( 7) ( 1)
合 計	20

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2020年9月15日から2021年3月15日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 付		
	口 数	金 額	平均単価		口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
GOODMAN GROUP (オーストラリア)	31	44,878	1,447				
MAPLE TREE LOGISTICS TRUST (シンガポール)	200	29,801	149				
CAPITALAND INTEGRATED COMMER (シンガポール)	180	29,025	161				
KEPPEL DC REIT (シンガポール)	126	26,774	212				
PARKWAY LIFE REAL ESTATE (シンガポール)	69	20,646	299				
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT (シンガポール)	80	18,182	227				
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	86.765	17,015	196				
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	61	13,747	225				
CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	46.256	11,213	242				
CROMWELL EUROPEAN REIT (シンガポール)	180	10,679	59				

- (注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況  
投資信託証券

(2020年9月15日から2021年3月15日まで)

	買 付		売 付		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
外 国	アメリカ	千口 — ( —)	千アメリカ・ドル — (△ 1)	千口 — ( —)	千アメリカ・ドル — ( —)
	オーストラリア	千口 — ( 2.349)	千オーストラリア・ドル — ( — 5)	千口 295.021 ( —)	千オーストラリア・ドル 1,336 ( —)
	香港	千口 — ( 1.61)	千香港・ドル — ( — 107)	千口 9 ( —)	千香港・ドル 623 ( —)
	シンガポール	千口 — (△ 57.658)	千シンガポール・ドル — (△ 57)	千口 1,111.165 ( —)	千シンガポール・ドル 1,893 ( —)
国	タイ	千口 — (△ 27.076)	千タイ・パーツ — (△ 56)	千口 — ( —)	千タイ・パーツ — ( —)
	ユーロ (その他)	千口 — ( —)	千ユーロ — ( —)	千口 180 ( —)	千ユーロ 84 ( —)

- (注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

■組入資産明細表  
外国投資信託証券

銘柄	期首 □ 数	当 □ 数	期末 評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(シンガポール)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
MANULIFE US REAL ESTATE INV	115.72	115.72	80	8,771
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	110	110	75	8,277
アメリカ・ドル通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	225.72 2銘柄	156	17,048 <2.3%>
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	4.867	4.925	14	1,250
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	46.256	—	—	—
RURAL FUNDS GROUP	85.705	—	—	—
CENTURIA OFFICE REIT	67.408	67.408	137	11,643
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	120.843	80.843	189	16,017
NATIONAL STORAGE REIT	83.307	83.307	157	13,296
APN INDUSTRIA REIT	9.542	9.542	28	2,383
SCENTRE GROUP	61	—	—	—
ARENA REIT	88.704	89.935	276	23,453
DEXUS	20	20	184	15,647
GPT GROUP	25	25	111	9,461
MIRVAC GROUP	50	50	120	10,160
STOCKLAND	60	30	132	11,252
GOODMAN GROUP	57	26	431	36,499
CHARTER HALL GROUP	30	30	349	29,617
オーストラリア・ドル通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	809.632 15銘柄	516.96 12銘柄	2,133 180,683 <23.9%>
(香港)	千口	千口	千香港・ドル	千円
YUEXIU REAL ESTATE INVESTMEN	130	130	507	7,123
SUNLIGHT REAL ESTATE INVEST	174	174	696	9,778
FORTUNE REIT	150	150	1,099	15,447
PROSPERITY REIT	350	350	924	12,982
LINK REIT	75.72	68.33	4,909	68,978
CHAMPION REIT	200	200	892	12,532
香港・ドル通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	1,079.72 6銘柄	1,072.33 6銘柄	9,028 126,843 <16.8%>
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポール・ドル	千円
KEPPEL DC REIT	391.35	265.35	679	55,111
FIRST REAL ESTATE INVT TRUST	190.686	190.686	43	3,558
FRASERS LOGISTICS & COMMERCI	540	540	750	60,896
SASSEUR REAL ESTATE INVESTME	150	150	126	10,283
CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	244.7	—	—	—

銘柄	期首 □ 数	当 □ 数	期末	
			評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	千口 293.48	千口 224.338	千シンガポール・ドル 652	千円 52,963
CAPITALAND INTEGRATED COMMER	295	291.184	614	49,846
SUNTEC REIT	150	80	124	10,125
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	356.662	156.662	281	22,877
KEPPEL REIT	87.451	87.451	102	8,301
ESR-REIT	193.777	—	—	—
FRASERS CENTREPOINT TRUST	209.805	209.805	522	42,383
PARKWAYLIFE REAL ESTATE	105	36	147	11,974
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	133.599	133.599	346	28,072
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST	42.845	42.845	87	7,125
FAR EAST HOSPITALITY TRUST	192.388	—	—	—
QUE COMMERCIAL REAL ESTATE I	203.745	203.745	76	6,198
シンガポール・ドル通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	3,780.488 17 銘柄	2,611.665 14 銘柄	4,557 <49.0%>
(マレーシア)	千口	千口	千マレーシア・リングgit	千円
SUNWAY REAL ESTATE INVESTMEN	270	270	405	10,728
マレーシア・リングgit通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	270 1 銘柄	270 1 銘柄	405 <1.4%>
(タイ)	千口	千口	千タイ・バツ	千円
CPN RETAIL GROWTH LEASEH-FOR	120	120	2,568	9,116
FRASERS PROPERTY THA-FOREIGN	240	240	3,024	10,735
IMPACT GROWTH REIT-FOREIGN	120	120	2,400	8,520
(非上場)	千口	千口	千タイ・バツ	千円
CPN RETAIL GRO-F RTS	27.076	—	—	—
タイ・バツ通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	507.076 4 銘柄	480 3 銘柄	7,992 <3.8%>
ユーロ (その他)	千口	千口	千ユーロ	千円
CROMWELL EUROPEAN REIT	180	—	—	—
ユーロ通貨計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	180 1 銘柄	— —	— <—>
合計	□ 数、金額 銘柄数 < 比率 >	6,852.636 46 銘柄	5,176.675 38 銘柄	— <97.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

## ■投資信託財産の構成

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託証券	千円 733,394	% 97.2
コール・ローン等、その他	21,229	2.8
投資信託財産総額	754,623	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.06円、1オーストラリア・ドル=84.67円、1香港・ドル=14.05円、1シンガポール・ドル=81.13円、1マレーシア・リングgit=26.49円、1タイ・バーツ=3.55円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(750,458千円)の投資信託財産総額(754,623千円)に対する比率は、99.4%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>754,623,674円</b>
コール・ローン等	19,024,137
投資信託証券(評価額)	733,394,002
未収入金	316,539
未収配当金	1,888,996
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>754,623,674</b>
元本	526,162,451
次期繰越損益金	228,461,223
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>526,162,451口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	14,342円

\*期首における元本額は738,739,900円、当作成期間中における追加設定元本額は8,229,724円、同解約元本額は220,807,173円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・アジアリート・ファンド(年1回決算型)70,393,162円、ダイワ・アジアリート・ファンド(毎月分配型)455,769,289円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は14,342円です。

## ■損益の状況

当期 自 2020年9月15日 至 2021年3月15日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>16,317,009円</b>
受取配当金	16,312,350
受取利息	5,631
支払利息	△ 972
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>38,502,123</b>
売買益	84,467,861
売買損	△ 45,965,738
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 511,681</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>54,307,451</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>253,576,323</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 82,492,827</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>3,070,276</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>228,461,223</b>
次期繰越損益金(H)	228,461,223

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。